

徳山ダムの弾力的な運用検討会設立趣意書（案）

平成20年5月から本格運用を開始した徳山ダムは、揖斐川の洪水調節や流水の正常な機能の維持等に大きな役割を果たすことが期待されている。流水の正常な機能の維持のための補給には、「徳山ダムに関する施設管理規程」に従って行うこととなるが、木曾川水系河川整備計画では渇水及び異常渇水対策として、「ダムによる河川維持流量の回復にあたっては、生態系等を考慮した流量変動について検討し、弾力的な運用に努める。」と謳われており、ダムからの放流を可能な範囲において時期や量を変化させる等の弾力的な運用を行うことにより、揖斐川の河川環境をより改善することを検討していく必要がある。

そこで、関連する専門分野の学識経験者や関係機関で構成する「徳山ダムの弾力的な運用検討会」を設置し、揖斐川の河川環境の保全と向上を図るため、徳山ダムに貯留した流水の正常な機能を維持するための貯留水を放流するにあたり、生態系等を考慮した流量変動をさせるための運用について指導・助言を得ることを目的に設立するものである。